

ロシア 東欧 経済速報

社団法人 ロシア東欧貿易会 東京都中央区新川1-2-12 金山ビル 郵便番号104 電話 (3551)8215~9
ロシア東欧経済研究所 購読料 送料共前納 ・ 1ヵ月 1,200円 1ヵ年 14,000円

平成6年3月15日

No.949

1993年のCIS諸国の経済

はじめに

CIS統計委員会『統計通報』(1994年1月No.2)にCIS諸国の1993年の経済実績が発表されたので、その一部のデータをここに紹介する。なお、表中の「…」は数字不詳、「-」は該当数字がないことを示している。

CIS諸国では1993年も経済危機の状況が続いた。生産はさらに低下し、貨幣供給量の増大、物価の上昇がみられ、国民の生活環境は悪化した。また、CISの多くの国でインフレの昂進、対外債務の増大、エネルギー問題などが生じた。一方、1993年には、ほとんどのCIS諸国で国内総生産(GDP)、工業総生産、農業総生産、小売商品売上高の低下のテンポは1992年と比較すると緩やかになった。

1993年にはCIS全体でGDPは対前年比10.0%減となり、ほとんどの国でマイナス成長となったが、トルクメニスタンのみ1992年に引き続きプラスであった。

工業総生産は、1992年と比較して低下率は下がったものの、依然として生産不振が続いている。たとえば、CISの基幹産業である燃料・エネルギー部門では、1993年の生産高がCIS全体で電力は5%、天然ガスは2%、石炭は10%、原油は12%それぞれ減少した。

1993年の農業総生産は、グルジア、アゼルバイジャンを除き低下率は小さく、CIS全体で対前年比2%減で、うち畜産は対前年比5%減、農作物生産は前年と同じ水準であった。穀物の生産はカザフスタン、アルメニアを除き概ね良好な状況であり、ウクライナでは穀物生産高4,560万t、対前年比18%増であった。

1993年のCIS諸国の外国貿易高(CIS諸国間の貿易は除く)は1992年より減少したが、前年同様、全世界の貿易高の1.4%を占めた。CIS諸国の主要貿易相手国は先進工業諸国で貿易総額に占めるシェアはおよそ60%であった。輸出入品目は従来どおり、輸出では石油、ガスなどの鉱物製品が総額の54%を占め、輸入では農産物、食料品、化学品、機械・設備が大きなシェアを占めた。